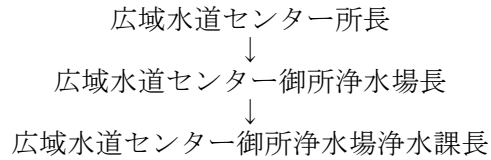


産業廃棄物処理計画書	
令和 7 年 6 月 30 日	
奈良県知事 殿	
提出者	
住 所 奈良県大和郡山市満願寺町444-3	
氏 名 奈良県広域水道企業団 企業長 山下 真（公印略） (法人にあつては、名称及び代表者の氏名)	
電話番号 0743-54-5985	
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。	
事業場の名称	奈良県広域水道企業団広域水道センター御所浄水場
事業場の所在地	奈良県御所市戸毛367-2
計画期間	令和7年4月1日～令和8年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
① 事業の種類	上水道業
② 事業の規模	総送水流量 58,596,630m <sup>3</sup> /年 (令和6年度)
③ 従業員数	8人
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	<div><div>浄水施設(沈殿池) ↓ 排 泥 池 ↓ 濃 縮 槽 ↓ 無薬注加圧脱水機 ↓ 破 碎 機</div><div>余剰分 ↓ 売 却      最終処分(埋立) R6年度 995t R7年度 計画1,200t</div><div>凡例 → 汚泥の流れ</div></div>

## 産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)



## 産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（令和 6 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	
	排出量	27,388 t	t
	(これまでに実施した取組)		
	なし		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	
	排出量	28,111 t	t
	(今後実施する予定の取組)		
	なし		

## 産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)
	なし
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)
	なし

## (第3面)

## 自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（令和 6 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	1,456 t	t
	(これまでに実施した取組)		
	なし		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	1,316 t	t
	(今後実施する予定の取組)		
	なし		

## 自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（令和 6 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	- t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	24,937 t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	- t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	25,595 t	t
	(今後実施する予定の取組)		
	同上		

浄水施設で発生した汚泥について、濃縮槽で濃縮した後中間処理施設（汚泥脱水機）にて脱水し、減量している。

## (第4面)

## 自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（令和 6 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	- t	t
	(これまでに実施した取組)		
	-		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	- t	t
	(今後実施する予定の取組)		
	-		

## 産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（令和 6 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	
	全処理委託量	995 t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
	売却できなかった余剰分の汚泥ケーキを大阪港広域臨海環境整備センターに運搬し、埋立処分する。（前年度は995t運搬）		

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	
	全処理委託量	1,200 t	t
	優良認定処理業者への 処理委託量	t	t
	再生利用業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
	同上（本年度は1,200t運搬予定）		
※事務処理欄			